

平成 17 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 10 日

上場会社名 株式会社ピクセラ (コード番号：6731 東証第 1 部)
 (URL <http://www.pixela.co.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 藤岡 浩
 問合せ先 取締役総務部長 御前 仁志 TEL:(06)6633-3500(代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 たな卸資産について、実地たな卸しを省略しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 9 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 10 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日 3 ヶ月間）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17 年 9 月期第 1 四半期	1,482 (-)	101 (-)	157 (-)	195 (-)
16 年 9 月期第 1 四半期	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(参考) 16 年 9 月期	-	-	-	-

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 9 月期第 1 四半期	17 73	17 55
16 年 9 月期第 1 四半期	- (-)	- (-)
(参考) 16 年 9 月期	-	-

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の連結業績は、デジタル家電に押され停滞していたパソコン市場が年末商戦にやや回復したことからパソコンに搭載される TV キャプチャー製品の出荷は順調に推移いたしました。また、デジタルカメラ向けのソフトウェアにつきましては、国内市場に息切れ感があつたものの海外市場向けが比較的順調であったことから、ほぼ予想どおりの売上を確保いたしました。これらの結果、売上高は 1,482 百万円となりました。

一方、利益面につきましては、前期より引き続き研究開発投資を積極的に行ったことや関係会社での開発費負担が高水準で推移したことから、営業損失 101 百万円、経常損失 157 百万円、当第 1 四半期純損失 195 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
17年9月期第1四半期	8,176 百万円	5,964 百万円	72.9 %	541.47 円 銭
16年9月期第1四半期	-	-	-	-

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
17年9月期第1四半期	225 百万円	18 百万円	137 百万円	3,412 百万円
16年9月期第1四半期	-	-	-	-

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当社グループの当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、34億12百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は2億25百万円の支出となりました。これは主として税金等調整前四半期純損失や売上債権、たな卸資産の増加等が、仕入債務の増加により相殺されたものの、法人税等の支払が2億62百万円あったこと等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は18百万円の収入となりました。これは主として営業保証金の返金による収入が1億4百万円あったものの、有形固定資産の取得が78百万円あったこと等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は1億37百万円の支出となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

3. 平成17年9月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

平成16年11月19日公表の業績予想に変更はありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【参考】第1四半期個別経営成績等の概況（単独）（平成16年10月1日～平成16年12月31日3ヶ月間）

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期第1四半期	1,482	(25.5)	99	(-)	121	(-)	159	(-)
16年9月期第1四半期	1,180	(32.0)	224	(96.6)	216	(313.2)	121	(132.1)
(参考)16年9月期	7,506	(67.9)	869	(4.6)	837	(1.4)	478	(27.3)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年9月期第1四半期	8,290	6,082	73.4	552 25
16年9月期第1四半期	5,419	4,225	78.0	423 12
(参考)16年9月期	8,631	6,429	74.5	583 68

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。

〔製品分類別売上高〕

（単位：百万円）

	平成17年9月期 第1四半期		平成16年9月期 第1四半期	
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）
ハードウェア製品	1,102	74.4	759	64.3
ソフトウェア製品	2	0.2	1	0.1
ソフトウェアロイヤリティ	313	21.1	335	28.4
受託開発	64	4.3	87	7.4
合計	1,482	100.0	1,180	100.0

添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第1四半期 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比
(資産の部)		
流動資産	6,902	84.4
現金及び預金	3,412	
受取手形及び売掛金	3,086	
たな卸資産	305	
繰延税金資産	58	
その他	37	
固定資産	1,274	15.6
有形固定資産	172	2.1
建物	49	
車両運搬具	4	
工具器具及び備品	117	
無形固定資産	46	0.6
投資その他の資産	1,055	12.9
関係会社社債	500	
投資有価証券	13	
関係会社長期貸付金	244	
繰延税金資産	74	
その他	223	
資産合計	8,176	100.0
(負債の部)		
流動負債	2,030	24.9
買掛金	1,793	
その他	236	
固定負債	181	2.2
役員退職慰労引当金	181	
負債合計	2,212	27.1
(資本の部)		
資本金	2,555	31.2
資本剰余金	3,210	39.3
利益剰余金	197	2.4
その他有価証券評価差額金	0	0.0
為替換算調整勘定	0	0.0
資本合計	5,964	72.9
負債及び資本合計	8,176	100.0

2 .(要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当第 1 四半期 (自 平成 16 年 10 月 1 日 至 平成 16 年 12 月 31 日)	
	金 額	百分比
売上高	1,482	100.0
売上原価	1,136	76.7
売上総利益	345	23.3
販売費及び一般管理費	446	30.1
営業損失	101	6.8
営業外収益	6	0.4
営業外費用	62	4.3
経常損失	157	10.7
税金等調整前四半期純損失	157	10.7
法人税等	37	2.5
四半期純損失	195	13.2

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期 (自平成16年10月1日 至平成16年12月31日)
区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	157
減価償却費	17
売上債権の増加額	45
たな卸資産の増加額	57
仕入債務の増加額	298
その他	18
小計	36
法人税等の支払額	262
営業活動によるキャッシュ・フロー	225
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	78
その他	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	137
財務活動によるキャッシュ・フロー	137
現金及び現金同等物に係る換算差額	13
現金及び現金同等物の増加額	358
現金及び現金同等物の期首残高	3,771
現金及び現金同等物の期末残高	3,412